

No.	022	—	2001	事務事業名	救急法普及に関する事務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	警防課	係名	救急救助係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	東温市民及び東温市に就業している者				根拠法令	消防法						
	事業の目的	最終的	東温市内における救命率の向上に努めます。			今年度	講習内容の見直しを行い、効果的な救命講習の実施と救命講習受講者の増加を目指します。						
	活動内容	①	子供から大人まで分かり易く、効果的な救急講習が実施できるよう指導方針について見直しを図ります。			④	普通救命講習Ⅰ(3時間)普通救命講習Ⅱ(4時間)を開催し、応急手当、救命処置の普及と上級救命講習の受講に繋がるように努めます。						
		②	防災センターにパソコンを設置し、気軽に救急の勉強が出来る環境を整えます。			⑤	上級救命講習(8時間)を開催し、高度な応急手当と救命処置の普及を図ります。						
		③	市民から短時間(1時間程度)講習の依頼が多いため、講習内容を精査し、より深く勉強が出来る講習会を目指します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		普及員講習	回数	参加者数		回・人	目標 1回 15人	1回 15人	1回 15人	100人(累計)			
実績						1回 2人	1回 1人						
上級救命講習		回数	参加者数		回・人	目標 1回 20人	1回 20人	1回 20人	1,000人(累計)				
	実績				2回 56人	2回 50人							
普通救命講習	回数	参加者数		回・人	目標 50回 800人	50回 800人	50回 800人	10,000人(累計)					
	実績				28回 537人	30回 716人							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	71千円	142千円	142千円								
	計(A)	71千円	142千円	142千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.364人 2,189千円	0.339人 2,041千円	0.345人 2,058千円								
		臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円								
	全体事業費(A+B)		2,260千円	2,183千円	2,200千円								
一次評価者	救急救助係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	より高い救命率を目指すためには、今後も継続して救命講習を実施することが必要です。												
有効性	AEDによる早期除細動と心肺蘇生の重要性が市民に浸透しており、応急手当についての関心も高まっています。												
達成度	救命講習受講者拡大のため、講習会だけではなく、各種イベントを通じたPRや市HPを活用し救命処置と応急手当の普及を呼びかけます。												
効率性	応急手当指導員や普及員のレベルアップと講習内容の見直しを図るとともに効果的な講習を実施し、地域における救命率の向上に努めます。												
当面の課題	市民の防災意識の高まりから、AEDによる早期除細動と心肺蘇生、応急手当の重要性が浸透し一定の効果は上げていますが、さらに充実させていくためには、指導者のレベルアップと受講対象者に応じた柔軟な講習内容とする事が必要であり、より効果の高い講習会を目指す必要があります。												
改革計画	指導員のレベルアップを図るための学習会を実施し、講習内容については受講対象者に応じた講習が実施できるように講習内容の再検討を行います。また、救急普及啓発広報車を活用し受講者の拡大と講習の充実を図ります。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	救急普及啓発広報車を有効に活用し、救命率の向上に努めて下さい。												

No.	022	—	2004	事務事業名	愛媛大学・東温市医師会との連携業務に関する事務及び業務			細事務事業名		公的関与	1		
PLAN	課名	警防課	係名	救急救助係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実				
	事業の対象	東温市民及び市内就業者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	病院前救護と医療関係機関との連携強化を図り、早期治療に取り組みます。			今年度	医師を交えた症例検討会やシミュレーション訓練を実施し、医療機関と連携し、救急隊員のレベルアップを図ります。						
	活動内容	①	継続した症例検討会等をおこない、救急隊と医療機関の連携強化と脳卒中患者搬送ネットワークの構築を図ります。			④	医学祭への協力や教育学部学生研修の受入によって、救命処置・応急手当の普及啓発を図ります。						
		②	東温市と東温市医師会の主催する健康フォーラムへ参加し、応急手当、救命処置の普及啓発活動の実施を図ります。			⑤	医学部学生による救急医療に関する研究(社会医学実習)への協力します。						
		③	愛媛大学医学部研修医や新任看護師、また医学生及び看護学生、施設職員に対しての救命処置の指導に努めます。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
		東温市脳卒中救急患者搬送連絡協議会と症例検討会・学習会		年間 実施回数			回	目標 1回	1回	1回	年1回以上		
東温市と東温市医師会の主催する健康フォーラムへの参加		年間 参加回数			回	目標 1回	1回	1回	年1回以上				
						実績 1回	1回						
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	44千円	99千円	100千円								
	計(A)	44千円	99千円	100千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.136人	818千円	0.131人	789千円	0.120人	716千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)	862千円		888千円		816千円							
一次評価者	救急救助係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	愛媛大学医学部や東温市医師会との連携協力を継続することにより、信頼関係の構築と東温市における救急医療体制の充実に繋がっています。												
有効性	医療機関と連携する事は、通常時の救急医療体制のみならず災害時における医療体制の連携強化に繋がります。												
達成度	愛大脳卒中センター受入時間が緩和され受入体制が充実しつつあります。救急隊員の知識・技術は向上しており、事業を継続することにより更なる向上を目指します。												
効率性	緊急度・重症度が高い傷病者を適切に判断し搬送することは非常に重要であり、傷病者の予後や社会復帰率の向上には必要不可欠であり効果的に運用されています。												
当面の課題	愛媛大学との相互理解が進み急性期治療の充実が図られておりますが、休日夜間の病院前救護の体制について、今後も愛媛大学、東温市医師会との連携強化が必要です。												
改革計画	現在おこなっている医師を交えた検討会や学習会を通じ、救急隊員のレベルアップに努めると共に、愛媛大学、東温市医師会との連携に努め、時間外受診の充実が図れるよう働きかけを行います。												
二次評価者	警防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	今後も愛媛大学、東温市医師会との連携強化に努めて下さい。												